平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)【舛田ゼミ】			授業コード	E002733
担当教員名	舛田 佳弘			科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	休暇中になじみのない土地への旅行を奨励します。時間もお金もかけなくて構いませんが、経済学の視点から面白いもの、特徴的なものを探すようにしてください。卒業論文の執筆は必須です。				
受講心得	他の授業と同じく、出席は必須です。既存の常識を疑ってみる気持ちを持ってください。間違いを気にしなくて構いませんので、ゼミ中の発言は積極的に行ってください。自身の分担する報告は確実に行ってください。				
教科書	特に共通のテキストは使用しません。各人の関心のある分野で、必要と想われる文献を用意してください。				
参考文献及び指定図書	『進化経済学 基礎』 日本経済評論社 進化経済学ハンドブック				
関連科目	経済政策論(2年次前期)、国際経済政策(2年次後期)				

授業の目的	経済学は社会科学の多くの分野に適用されていますが、世界にはまだ多くの問題が未解決のままです。その理論的厳密さにもかかわらず、現実が変わらない原因はどこにあるのでしょうか。経済学の反省も踏まえ、より住みやすい社会の可能性を一緒に考えます。
授業の概要	導入として、学術論文の一般的な執筆の仕方と経済学による多様な対象へのアプローチをいくつか紹介します。前期は卒論にかかわる学術論文から輪読と報告を行ってもらいます。先行研究のサーベイは論文執筆の基礎です。報告の際にはレジュメを用意して、要約と自身の意見を述べてもらいます。後期は卒業論文に向けて、自身の卒業論文の進捗状況を報告してもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション 各人が興味・関心を有するテーマについて文献の報告を行ってもらうため、文献・資料の収集について説明します。論文検索や各種データベースの紹介などを行います。また、一般的な学術論文の構成について説明を行います。	文献講読に3～4時間、レジュメ作成で2～4時間はかかると考えて、早めに取りかかるように。
第 2 週 : 経済学の多様性1 様々な分野の経済学研究について、紹介を行います。一見、経済学と無関係に思える事柄に対してどのような先行研究がなされてきたか知ることで、卒業論文へのアプローチを広げます。	関心あるテーマについて自分で先行研究を集める。
第 3 週 : 経済学の多様性2 様々な分野の経済学研究について、紹介を行います。一見、経済学と無関係に思える事柄に対してどのような先行研究がなされてきたか知ることで、卒業論文へのアプローチを広げます。	関心あるテーマについて自分で先行研究を集める。
第 4 週 : 卒業論文のテーマと方向性の確認 各人の興味・関心に基づいて、卒業論文のテーマとその方向性を絞ってもらいます。以後、特段の理由がない限り、大幅な変更は認めませんので、それで書けるかどうか真剣に考えてください。次回から各人の卒論と関連する先行研究の報告を行ってもらいます。	
第 5 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 6 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 7 週 : 報告	次回報告の準備

	担当者以外も読んでおくこと
第 8 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第 9 週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第10週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第11週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第12週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第13週 : 報告	次回報告の準備 担当者以外も読んでおくこと
第14週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第15週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第16週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第17週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第18週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第19週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第20週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第21週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第22週 : 卒論指導 各人の卒業論文の進捗を確認し、執筆に必要なアドバイスを行います。	卒業論文執筆
第23週 : 卒業論文報告練習 論文の内容を正確に報告するための練習を行います。レジュメ・スライド資料を用意するように。報告者以外は疑問点、質問など積極的に挙げてください。	報告の準備
第24週 : 卒業論文報告練習 論文の内容を正確に報告するための練習を行います。レジュメ・スライド資料を用意するように。報告者以外は疑問点、質問など積極的に挙げてください。	報告の準備
第25週 : 卒業論文報告練習	報告の準備

論文の内容を正確に報告するための練習を行います。レジュメ・スライド資料を用意するように。報告者以外は疑問点、質問など積極的に挙げてください。	
第26週： 卒業論文報告練習 論文の内容を正確に報告するための練習を行います。レジュメ・スライド資料を用意するように。報告者以外は疑問点、質問など積極的に挙げてください。	報告の準備
第27週： 卒論指導 卒業論文の完成に向けて指導を行います。先の指摘を参考にしてより完成度の高いものに近づける努力をしてください。	卒業論文執筆
第28週： 卒論指導 卒業論文の完成に向けて指導を行います。先の指摘を参考にしてより完成度の高いものに近づける努力をしてください。	卒業論文執筆
第29週： 卒論指導 卒業論文の完成に向けて指導を行います。先の指摘を参考にしてより完成度の高いものに近づける努力をしてください。	卒業論文執筆
第30週： 卒論報告会に向けて 卒論報告会に備えて、最終準備を行ってもらいます。	報告の準備

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	報告者は自身の分担を責任を持って報告すること（どうしてもできない場合は事前に連絡する）。 報告者以外も毎回一度は発言すること。
【知識・理解】	用語等はあらかじめ自分で調べてくること。 わからない部分があっても、何がわからないか明確にし、途中で投げ出さない。
【技能・表現・コミュニケーション】	聞き手にわかりやすく報告することを心がける。 担当者以外は必ず質問や感想、意見を述べること。 経済学の用語・概念を用いて自身の研究分野について説明できること
【思考・判断・創造】	間違っても構わないので、自分なりに理解できたと思えるまで考えること。 経済学の思考法で自身の関心対象を説得的に説明できる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**25点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**20点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**25点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**30点**	
（「人間力」について）				

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	レジュメは２～3千字程度で、報告者以外も内容を理解できるように準備すること。また、わからない語句等はあらかじめ調べてくること。
発表・その他（無形成果）	テキストの内容を理解して、他の人に伝えられる。 他人の報告に対して、自分なりの意見表明ができる。